

受付番号
倫理第 1012 号
研究課題名
骨盤内臓全摘術時の有茎大網充填法による骨盤内感染抑制効果の検討
研究期間
2015 年 8 月 18 日から 2015 年 12 月 31 日まで
研究の目的・方法
骨盤内臓全摘術は周囲の臓器まで癌が広がった直腸癌や子宮卵巣癌・前立腺癌に適応となる術式です。体に大きな負担をかける手術となる場合が多く、手術死亡率や術後合併症の頻度も高いといわれています。特に腫瘍を摘出した後の骨盤内の空いたスペースに感染をきたす合併症(骨盤内死腔炎)は、最も問題となります。一旦発生すると患者様の生活の質を低下させるだけでなく、入院期間が長期化することが予想されます。以前より、骨盤内の空いたスペースに、おなかの中の脂肪の一部(大網)を充填させる術式(有形大網充填法)が感染を予防する報告がなされています。今回、その術式が骨盤内臓全摘術後の骨盤内感染の発生を抑制できるかを研究します。
研究の対象となる方
2005 年 4 月～2013 年 12 月の期間に骨盤内腫瘍に対して骨盤内臓全摘術を受けられた患者様 27 名。
研究に利用する試料・情報
<ul style="list-style-type: none"> ・術前データ (年齢・性別・BMI・腫瘍の進行度・術前使用抗がん剤・採血データ・等) ・周術期データ(術式・手術時間・出血量・等) ・術後データ (合併症・病理組織学的診断・入院期間・全生存期間・無再発生存期間・転帰・等)
研究機関の名称並びに研究機関の長及び研究責任者の氏名
研究機関の名称：熊本大学大学院生命科学研究部
研究機関の長：西村 泰治
研究責任者：馬場 秀夫 消化器外科学 教授
研究に関する資料の入手・閲覧について
ご要望があれば、患者様とご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡ください。
個人情報の取り扱いについて
<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。 2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表される情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。 3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。 4. 個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。 5. 本研究で取得し管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の停止を希望される方は、担当医師までご相談ください。 6. 一般的な質問や苦情がある方は、下記の対応窓口までご連絡ください。
利益相反について
本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。本研究における利益相反に関する状況

は、熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究利益相反審査委員会の審査を経て、熊本大学大学院生命科学研究部長へ報告しています。

お断りのお申し出について

この研究に、ご自分のデータを使用してほしくないと思われる場合は、その旨下記の対応窓口までお申し出ください。それまでに収集されたデータを一切使わないようにすることができます。その場合でも、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。上記の調査期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問合せ・ご相談への対応窓口

熊本大学生命科学研究部 消化器外科学

担当者：宮本裕士、坂本快郎、吉田直矢、徳永竜馬

－連絡先－

熊本大学医学部附属病院 消化器外科

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

電話 096-373-5540/096-373-5544 消化器外科外来（EFブロック）